

第10回 (9/10号)

水稻病虫害発生予察の結果について

① 生育状況

生育状況は概ね平年並みの生育で、順調に進んでいます。韮山地区、江間地区は籾の中身が固まり始め、糊熟期から固熟期にかかっていました。長岡地区、大仁地区は、固熟期でした。山間地では収穫期に入っており、収穫している圃場や、収穫が済んだ圃場も多く見られるようになっていました。山間地の調査は本日で終了致します。

② 病虫害状況

今回の調査では、ウンカ類、ヨコバイ類の発生はほとんど確認されませんでした。ニカメイチュウの加害による白穂が見られました。加害されると稔実せず、減収につながります。出穂直後の食害による被害ですので、今から防除できるものではありません。次作に向けては、残効性の高い箱処理剤による防除が効果的となります。資材選択の際はご検討をお願いいたします。



← ニカメイチュウの加害による白穂

殺虫剤

○トレボン粉剤DL 3~4kg/10a 1,350円/1袋 (3kg)

時 期：収穫7日前まで

備 考：ウンカ類、ヨコバイ類、イナゴ類、カメムシ類

秋ウンカに対して散布する場合は、株元に掛かるように行う。

○スタークル粒剤 3kg/10a 3,520円/1袋 (3kg)

時 期：収穫7日前まで

備 考：ウンカ類、ヨコバイ類、カメムシ類

※商品の値段は全て税込表示です。

問い合わせ：韮山営農経済センター 勝又 055-949-0055

※JAふじ伊豆ホームページでも確認頂けます。

※FM伊豆の国でも朝・昼放送を開始しました。